

科目名	雑貨製作実習 I	整理番号	
学科	ファッション雑貨デザイン学科	期	通年
コース	ファッション雑貨デザインコース		昼間
学年	1年		講義 20% 実習 80%
時間数	120	作成者	杉山佳美

【科目の到達目標】

バッグ・ポーチを中心とする布小物、また皮革小物のパターン、縫製技術を習得する体系的にファッション雑貨を捉えデザイン・制作の幅を広げる。

【科目の概要】

近年のファッション業界では、ファッション雑貨の占める割合が増加し、基礎的なトートバッグから学び、バッグ・ポーチやヘアアクセサリ、等縫製技術を必要とする作品を製作する。売り手としてのバッグ・雑貨制作を体験し、各自の作品作りに発展させる。

【授業計画】

90分1コマ	前期	後期
1・2	エプロン製作 パターン製作	31・32 たつの祭り商品製作
3・4	エプロン製作 縫製:ポケット付け	33・34 たつの祭り商品製作
5・6	エプロン製作 縫製:裾・サイド始末	35・36 たつの祭り商品製作
7・8	バッグの構造理解 ①Tマチのバッグ	37・38 たつの祭り商品製作 価格決定
9・10	バッグの構造理解 ③横マチのバッグ	39・40 たつの祭り商品製作
11・12	トートバッグ製作 パターン製作	41・42 中仕切り財布製作 パターン製作
13・14	トートバッグ製作 裁断・裏地縫製	43・44 ↓ 裁断、下準備
15・16	トートバッグ製作 仕上げ	45・46 縫製 ファスナー付け
17・18	ラウンドポーチ製作 パターン製作	47・48 ↓ 縫製・仕上げ
19・20	ラウンドポーチ製作 縫製・パイピングまとめ	49・50 フランスマチバッグ製作 裁断・芯カット
21・22	ヘアバンド製作 パターン製作・裁断	51・52 縫製 ファスナー付け
23・24	ヘアバンド製作 縫製	53・54 縫製 前胴・天マチ セット
25・26	ヘアバンド製作 ゴム入れ・仕上げ	55・56 ショルダーベルト製作
27・28	たつの祭り商品製作 革小物練習	57・58 底・背胴 ベルト まとめ
29・30	たつの祭り商品製作 革小物練習	59・60 ↓ テスト *フランスマチ提出

【成績評価方法】

提出物の評価 60% 期末テスト30% 授業態度 10%

【教科書・参考書】

【教材・教具】

縫製用具一式、製図用具一式

科目名	雑貨デザイン I	整理番号	
学科	ファッション雑貨デザイン学科	期	通年
コース	ファッション雑貨デザインコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 30% 実習 70%
時間数	120	作成者	杉山佳美

【科目の到達目標】

・市場におけるファッション雑貨の位置づけ、企画サイクルを理解し、企画提案、販売までの提案ができる人材の育成を目指す

【科目の概要】

・一般のアパレル市場だけでなく、現代発展的なハンドメイドマーケットや、アプリなど個人レベルの物販の市場にも着目し、分析と製作、販売を繰り返すことで、市場を理解しターゲットに沿った企画提案が出来るようになる。

90分/コマ	前期	後期
1・2	エプロン製作 裁断 地直し	31・32 上安祭商品製作
3・4	エプロン製作 縫製:パイピング	33・34 上安祭商品製作
5・6	エプロン製作 ベルト付け(革)	35・36 HEP FIVE 説明会 校外学習 素材購入
7・8	バッグの構造理解 ②通しマチのバッグ	37・38 HEPFIVE 商品デザイン
9・10	トートバッグ製作	39・40 市場リサーチ
11・12	トートバッグ製作	41・42 HEPFIVE サンプルUP ミーティング
13・14	素材研究	43・44 たつの売り上げ報告、振り返り
15・16	ラウンドポーチ製作	45・46 HEPFIVE 修正サンプルUP ミーティング
17・18	ラウンドポーチ製作	47・48 HEPFIVE 商品製作
19・20	講義:ハンドメイドアクセサリー研究 制作の方向性	49・50 HEPFIVE 商品製作
21・22	アクセサリー製作練習 ビーズアクセ	51・52 HEPFIVE 商品製作 ミーティング:価格決定
23・24	ハンドメイドマーケット分析 市場リサーチ	53・54 HEPFIVE 商品製作
25・26	アクセサリー製作練習 レジン	55・56 会社見学
27・28	上安祭商品製作	57・58 HEPFIVE 商品製作 商品カタログ決定
29・30	テスト	59・60 テスト
	* 夏休みの宿題 ハンドメイドレポート3点	

【成績評価方法】

課題作品評価60%、期末試験・小テスト30%、平常点10%

【教科書・参考書】

ファッション雑誌

【教材・教具】

縫製用具一式、製図用具一式 ヤットコ類

科目名	ヌーベルシャポー I	整理番号	
学科	ファッション雑貨デザイン	期	通年
コース	ファッション雑貨デザイン		昼間
学年	1	授業形態	講義 10% 実習 90%
時間数	120	作成者	山本美千代

【科目の到達目標】

帽子製作の基礎であり、デザインしやすいハットを習得し、自らのデザインを形成する。
また、後期には前期の課題を応用したデザインを展開し帽子業界で通用する物作りをする。

【科目の概要】

不景気と言われる昨今、売れている商品はシンプルで被りやすく、コーディネートしやすい帽子のため、授業では、基本の型をパターンから裁断、縫製、仕上げまで自ら製作することで技術を習得し、習得した技術を用いて、デザイン性のある物まで対応できるようにする。

【授業計画】

90分1コマ		前期	後期
1・2	6方HAT 製作		31・32 キャスケット 製作 トワール製作
3・4	トワール製作		33・34 パターン修正
5・6	縫製		35・36 縫製
7・8	パターン修正		37・38 ↓ 仕上げ
9・10	縫製		39・40 CAP 製作 パターン
11・12	縫製		41・42 トワール製作
13・14	↓ 仕上げ		43・44 縫製
15・16	平天HAT 製作 パターン		45・46 パターン修正
17・18	トワール製作		47・48 縫製
19・20	縫製		49・50 ↓ 縫製
21・22	パターン修正		51・52 中折れHAT 製作 パターン
23・24	縫製		53・54 トワール製作
25・26	↓ 縫製		55・56 パターン修正 縫製
27・28	キャスケット 製作 パターン		57・58 縫製
29・30	テスト		59・60 ↓ 仕上げ・テスト

【成績評価方法】

課題作品 前期・後期 各5点の評価60% 授業態度 10% テスト 30%

【教科書・参考書】

配布レジュメ

【教材・教具】

各種ミン(本縫い・二本針・腕) 縫製用具(押え各種など) アイロン 割台 製図用具一式 生地 芯地

【実務経験の内容】

帽子製造メーカーを経て独立後、帽子の企画・製造を手掛けている実績を活かし、帽子製作に必要な知識・技術を指導する。

教科名	メタルワーク I	整理番号	
学科	ファッション雑貨デザイン学科	期	前期
コース	ファッション雑貨デザインコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 20% 実習 80%
時間数	60	作成者	柿迫恒儀

【授業の到達目標】

アパレル業界内の「アクセサリ/小物」と呼ばれるカテゴリでの商品作製に必要な技術の習得。
 貴金属アクセサリや革小物を制作し、マテリアルの知識、及びデザイン、造形力を学ぶ。
 様々なマテリアルを理解し、幅広くアイテムを造り出す事の出来る、オリジナリティーのある人材の育成。

【授業概要】

各アイテムによる制作行程の理解、デザイン展開、基礎からの技術習得を目指す。
 貴金属アクセサリや革小物等 実物作品を制作する。

【授業計画】 90分/コマ

- 第01～02回 基本工程の理解、工具の説明
- 第03～04回 シルバーリング制作
- 第05～06回 シルバーリング製作
- 第07～08回 真鍮バングル制作 ～制図
- 第09～10回 真鍮バングル制作 ～透かしなど成形
- 第11～12回 真鍮バングル制作 ～透かしなど成形
- 第13～14回 真鍮バングル制作 ～バングル加工
- 第15～16回 真鍮バングル制作 ～仕上げ
- 第17～18回 WAX立体ネックレス(ヘッド)制作 ～デザイン、制図
- 第19～20回 WAX立体ネックレス(ヘッド)制作 ～成形、彫刻
- 第21～22回 WAX立体ネックレス(ヘッド)制作 ～成形、彫刻 WAX段階での仕上げ
- 第23～24回 WAX立体ネックレス(ヘッド)制作 ～Lost wax casting についての理解
- 第25～26回 WAX立体ネックレス(ヘッド)制作 ～キャスト上がり加工 成形
- 第27～28回 WAX立体ネックレス(ヘッド)制作 ～キャスト上がり仕上げ
- 第29～30回 テスト・まとめ

【成績評価方法】

作品(技術、デザイン、完成度)50%
 試験30%
 平常点(課題全提出、締め切り期日の厳守、授業態度)20%

【教科書・参考書】

配布プリント(制作工程プリント)
 実物見本 サンプル見本

【教材・教具】

バーナー、ローラー等制作機器、彫金工具一式
 ミシン、革縁漉き機、革物工具等

科目名	ハンドクラフト	整理番号	
学科	ファッション雑貨デザイン学科	期	後期
コース	ファッション雑貨デザインコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 20% 実習 80%
時間数	60	作成者	廣岡均子
【科目の到達目標】 手芸の出来る人材 刺繍、手芸の基礎技術習得し、手仕事の出来る人材育成をする			
【科目の概要】 機械の発達により、縫製技術は発展しているが、機械には成り代われない、手仕事の大切さ、個人の感性、物を作る楽しさを手芸を通して学ぶ			
【授業計画】 90分/コマ 1・2 手編みの説明（針・糸） 基礎編み（棒針・かぎ針） 3・4 棒編み 作り目 表・メリヤス編み 裏・メリヤス編み 5・6 編み図記号の説明 7・8 ウラメリヤス編み 9・10 作品の糸始末 11・12 ニットの作品の仕上げ方 13・14 鉤針 レース編み 編み込み 作品説明 15・16 編み物の記号の試験 17・18 基礎ステッチの説明（ドロンワークフリンジの刺し方） 19・20 ミラーワーク、糸、針、歴史の説明 ミラーワーク、刺し始め 21・22 テープのはり方 テープの利用、作品の説明 フリーステッチの説明（刺繍糸の使い方） 23・24 作品の糸始末 25・26 ハーダンガ刺繍「歴史民族衣装」 27・28 クロスステッチ説明 参考作品の本を見せて説明 図案の仕上がり 寸法の計算方法 29・30 全体のまとめ 期末試験 まとめ			
【成績評価方法】 提出課題の評価60% 期末試験30% 授業態度10% 各技法の修得力 色彩感覚			
【教科書・参考書】 『RAKAM』（伊）2015年、『NEW STITCHES』（英）出版社クリエイティブ・クラフツ・パブリッシング・リミテッド 基礎プリント配布、『刺しゅう』雄鶏社 平成6年度、北欧雑誌、私物の本毎回持参			
【教材・教具】 刺繍針、はさみ、ものさし、待針、しつけ糸、刺繍糸 布30cm×30cm			

科目名	染色	整理番号	
学科	ファッション雑貨デザイン学科	期	前期
コース	ファッション雑貨デザインコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 10 % 実習 90 %
時間数	28	作成者	長田 綾美

【科目の到達目標】

染色技法基礎の修得。デザインの感性を高め作業を計画的に進めて行く能力を養う。

染料と繊維の関係を学ぶ。

色彩感覚を養い染色のおもしろさを知る。

【科目の概要】

アナログ的な手作りを基本とした制作実習。シルクスクリーン、絞り染めなどの技法を使ってトートバッグ、生地素材などを染めながら染色技法を修得していきます。

【授業計画】90分/コマ

- 1・2 絞り染め。浸染め。 参考プリントから色々な技法を修得。
- 3・4 絞り染め。浸染め。 参考プリントから色々な技法を修得。
- 5・6 板締め。板の挟み方によって異なるデザインの違いや表情のおもしろさを学習する。
- 7・8 板締め。板の挟み方によって異なるデザインの違いや表情のおもしろさを学習する。
- 9・10 シルクスクリーン。 幾何学模様によるデザイン原稿を制作する。
- 11・12 シルクスクリーン。 幾何学模様によるデザイン原稿の製版を行う。
- 13・14 シルクスクリーン。 トートバッグやTシャツにオリジナルデザインをプリントする。

【成績評価方法】

提出課題の評価 60% 期末試験 60% 授業態度 10%

【教科書・参考書】

『染色の基礎知識』 染織と生活社発行

【教材・教具】

各種染料。 刷毛、筆、伸子、張り木、ステンレスタンク、蒸し器等の染色用具。
 ガスコンロ、水洗場等の設備。 シルクスクリーン感光器
 ガスコンロ、水洗場等の設備。 シルクスクリーン感光器

科目名	ファッションデザイン論	整理番号	
学科	ファッション雑貨デザイン学科	期	通年
コース	ファッション雑貨デザインコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 60 % 実習 40 %
時間数	60	作成者	野田 光晴

【科目の到達目標】

ファッションデザインを考えると、過去の衣服の変遷や民族による衣服の違いを知ることは必須である。本科目ではこれらについての知識を修得し、「自分で調べ、考え、まとめる」ことを通してオリジナルデザインを制作するための基礎を養成することを目標とする。

【科目の概要】

ファッションデザインの変遷と、民族・習慣等による衣服のデザインについて理解を深めるための講義と演習
現在、流通している衣服や歴史上の衣服のファッションデザインを整理・理解し、オリジナルデザイン画を制作する。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1	「ファッションデザインのもと1」 エレガントとスポーティ(1)	16	「コートのデザイン1」
2	エレガントとスポーティ(2)	17	「コートのデザイン2」
3	「ファッションデザインのもと2」 モダンとフォークロア(1)	18	「コートのデザイン3」
4	モダンとフォークロア(2)	19	「パンツのデザイン1」
5	「シャツ・ブラウスのデザイン1」	20	「パンツのデザイン2」
6	「シャツ・ブラウスのデザイン2」	21	「パンツのデザイン3」
7	「スカートのデザイン1」	22	「ジャンパーのデザイン1」
8	「スカートのデザイン2」	23	「ジャンパーのデザイン2」
9	素材の知識①:平織と綾織の組成	24	「ジャンパーのデザイン3」
10	素材の知識②:天然繊維と化学繊維	25	アクセサリ 帽子のデザイン
11	素材の知識③:天然繊維と化学繊維	26	「フットウェアのデザイン」
12	「ワンピースドレスのデザイン1」	27	「バッグのデザイン」
13	「ワンピースドレスのデザイン1」	28	「トータル・コーディネート1」
14	「ジャケットのデザイン1」	29	「トータル・コーディネート2」
15	「ジャケットのデザイン2」	30	「トータル・コーディネート3」

【成績評価方法】

課題評価点60%、期末試験30%、平常点10%を100点満点で評価する。

【教科書・参考書】

高村是州『スタイリング・ブック』グラフィック社、文化出版局『ファッション辞典』
WWDジャパン『WWD』

【教材・教具】

筆記用具、のり、はさみ、A4判ノート、コピックスマルチライナー、コピックスケッチ、ガッシュ着彩の用意

科目名	ベーシック	整理番号	
学科	ファッション雑貨デザイン学科	期	通年
コース	ファッション雑貨デザインコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 20% 実習 80%
時間数	60	作成者	中川健

【科目の到達目標】

専攻分野でイメージを実現化するうえでの基礎的な表現技術の習得を目指す。

【科目の概要】

・色彩構成の基礎 ・立体構成の基礎 ・描画技術の基礎を学ぶ。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1	色彩構成①	ガイダンス&調色	16 立体構成①ガイダンス&山折り谷折り①
2	色彩構成②	調色と配色①	17 立体構成②山折り谷折り②
3	色彩構成③	調色と配色②	18 立体構成③六角柱①
4	色彩構成④	明度による配色①	19 立体構成④六角柱②
5	色彩構成⑤	明度による配色2	20 立体構成⑤レリーフ①
6	色彩構成⑥	イメージ配色①	21 立体構成⑥レリーフ②
7	色彩構成⑦	イメージ配色②	22 立体構成⑦レリーフ③
8	色彩構成⑧	イメージ配色③	23 コンセプトブック① ガイダンス&インタビュー
9	色彩構成⑨	イメージ配色	24 コンセプトブック② ブランドコンセプト立案
10	デザイン画ヌードボディ①		25 コンセプトブック③ ブック制作
11	絵の具の扱い・グラデーション		26 コンセプトブック④ ブック制作
12	デザイン画ヌードボディ②着彩		27 クロッキー①
13	ボディへの着装		28 クロッキー②
14	デザイン画着彩		29 ヌードクロッキー(後期試験)
15	前期試験		30 コンセプトブック⑤ プレゼンテーション

【成績評価方法】

課題60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

『デザインの色彩』中田満雄 北畠耀 細野志尚 監修 財団法人日本色彩研究所 日本色研事業株式会社 2版

【教材・教具】

筆記具 鉛筆 絵具セット カッターナイフ 30cm定規 コンパス B4ケント紙 クロッキー帳

【教材・教具】

縫製用具一式、製図用具一式 ヤットコ類

科目名	コンピュータ演習 I	整理番号	
学科	ファッション雑貨デザイン学科	期	通年
コース	ファッション雑貨デザインコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 20% 実習 80%
時間数	90	作成者	佐山 孝典
【科目の到達目標】			
ファッション業界においてデザイン、企画書作成に必要なPC操作とソフトウェアを活用できるスキルを習得する。			
【科目の概要】			
Googleクロームを使った各種設定とアプリの操作方法。 PCを使って企画書や商品デザイン書類等を作成する。			
【授業計画】 90分/コマ		前期	後期
1	メールアドレス設定と課題提出方法 Googleクラスルーム 自己紹介シート	16,17	シューズ、バッグ、雑貨アイテムの描画1 (Illustrator Photoshopの応用)
2	グーグルクロームとクラウド Googleアプリの解説	18,19	シューズ、バッグ、雑貨アイテムの描画2
3	描画基礎1 (Illustrator) ペンツール	20,21	シューズ、バッグ、雑貨アイテムの描画3
4	描画基礎2 (Illustrator) レイヤーと作画	22,23	シューズ、バッグ、雑貨アイテムの描画4
5	描画基礎3 (Illustrator) 着色と柄	24,25	シューズ、バッグ、雑貨アイテムの描画5
6	画像加工基礎1 (Photoshop) 切抜き、着色	26,27	商品企画書1 (Illustrator Photoshop Excelの応用)
7	画像加工基礎2 (Photoshop) サイズ、解像度	28,29	商品企画書2
8	画像加工基礎3 (Photoshop) レイヤー、合成	30,31	商品企画書3
9	コンテスト作品デザイン画1	32,33	商品企画書4
10	コンテスト作品デザイン画2	34,35	商品企画書5
11	コンテスト作品デザイン画3	36,37	ポートフォリオ制作1
12	Word基礎 タイピング 文書作成	38,39	ポートフォリオ制作2
13	Excel基礎 表計算 関数	40,41	ポートフォリオ制作3
14	パワーポイント基礎 プレゼンテーションシート作成	42,43	課題 まとめ
15	まとめ テスト アイテムイラスト描画 画像加工	44,45	テスト
【成績評価方法】			
提出物評価60% テスト30% 授業態度10%			
【教科書・参考書】			
参考資料等はPDF、プリントを配布			
【教材・教具】			
筆記用具 USBなどフラッシュメモリ			

科目名	ファッション雑貨ドローイング	整理番号	
学科	ファッション雑貨デザイン学科	期	後期
コース	ファッション雑貨デザインコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 30% 実習 70%
時間数	30	作成者	高木 義隆

【科目の到達目標】

企画、デザインに必要なイラスト、デザイン画が描画できる力を身に付ける。ファッション業界で仕事をする上で必要な、描画によるビジュアルコミュニケーションを円滑に進めるための能力の開発・習得を目指す。

【科目の概要】

雑貨の基本アイテムである、帽子、バッグ、アクセサリなどの描画法を習得する。自身や他者のプランを描画により視覚化することで、他者(デザイナー・パタンナー・縫製・プレス・上司やクライアント)とのコミュニケーションを図ることができる力を身に付ける事により、プランニングから製品化・販促への工程をスムーズに進める事を可能とする。

【授業計画】

90分/コマ

後期

- 1 モチーフ観察の方法論 (右脳を使った観察方法)
- 2 観察した物を描画で再現する方法 (視覚と手の連動・線の種類)
- 3 基本的な立体表現と量感表現 (球・円柱・立方体 等の書き方(遠近法)とグレースケールによる陰影の割合)
- 4 アイテムドローイング①シンプルなモチーフのドローイング (平面・立面・斜め・ブロック構成)
- 5 アイテムドローイング②シューズドローイング (平面・立面・斜め・ブロック構成)
- 6
- 7 クロッキー① (ディティールの表現 ドレープ・プリーツ・ギャザー)
- 8
- 9 アイテムドローイング③バッグドローイング (平面・立面・斜め・ブロック構成)
- 9 クロッキー② (アイテムクロッキー 数量→質への変化)
- 10 素材表現② (描き起こし技法による金属素材表現 アクセサリ類)
- 11 デザイン画① (資料・ラフ画・量感表現)
- 12 デザイン画① (着彩+仕上げデザイン画)
- 13 デザイン画② (資料・ラフ画・量感表現)
- 14 デザイン画② (着彩+仕上げデザイン画)
- 15 期末試験

【成績評価方法】

提出物の評価60% 期末テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

ファッション雑誌
雑貨製品の実物または製品写真の掲載雑誌など

【教材・教具】

筆記用具、デザインセット(彩色用具一式) デッサン用鉛筆、カッターナイフ、クロッキーノート、ケント紙等

科目名	マーケティング演習 I	整理番号	
学科	ファッション雑貨デザイン学科	期	後期
コース	ファッション雑貨デザインコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義40% 実習60%
時間数	30	作成者	道仲 阿子

【科目の到達目標】

基礎的な販売技術、及びVMDの意義とその効果を理解する。

【科目の概要】

お客様とのコミュニケーション手段を学び、アプローチの幅を広げる。
MDの視覚的表現や効果を的確に捉える。

【授業計画】

90分/コマ

- 1 コミュニケーションの重要性
- 2 VMDとは
- 3 上安祭 搬入
- 4 上安祭 搬入
- 5 アプローチ、VP振り返り
- 6 アプローチのtry & error
- 7 たつの革祭VPプラン
- 8 ディスプレイ
- 9 たつの革祭 搬入
- 10 たつの革祭 搬入
- 11 アプローチの、VP振り返り
- 12 商品説明のtry & error
- 13 今、求められているVMD
- 14 ブランドイメージに合った店舗づくり
- 15 期末試験

【成績評価方法】

提出物評価40% テスト40% 授業態度20%

【教科書・参考書】

プリントを配布

【教材・教具】

筆記用具 色鉛筆

科目名	ファッションビジネス概論	整理番号	
学科	ファッション雑貨デザイン学科	期	後期
コース	ファッション雑貨デザインコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 100 %
時間数	30	作成者	栄 和代

【科目の到達目標】

アパレル業界の仕組み、消費者行動、商品企画、流通、ビジネス上の基礎知識などを解説し、ファッションビジネス検定3級認定を取得する知識を修得する。

【科目の概要】

アパレル業界の企画、生産、販売までの仕組みをビジネス的な観点から解説する。
また、変化するファッションビジネスの現状を最新情報とともに解説する。

【授業計画】 90分/コマ

- 1 1-1ファッションビジネス概要
授業概要説明 ①Fビジネスの定義と特性
- 2 1-2ファッションビジネス概要
ファッション雑貨産業の流れ ファッションビジネス最近の傾向
- 3 2-2ファッション消費と消費者
①ファッション表現と消費行動 ②ライフスタイルとファッション
- 4 3-1アパレル産業と小売業
①アパレル産業の概要 ②アパレル、雑貨メーカーについて
- 5 3-2アパレル産業と小売業
②小売業の概要 百貨店・量販店・専門店ほか
- 6 4-1ファッションマーケティング
①マーケティングの基礎知識
- 7 4-2ファッションマーケティング
②マーケティング上の商品分類(MAP) ③リサーチの基本知識
- 8 5-1ファッションマーチャンダイジング
①MDの基本知識 ②商品企画から生産・販売
- 9 5-2ファッションマーチャンダイジング
③売場での商品知識
- 10 6-1ファッション流通
①流通とは、流通コストと取引
- 11 6-2ファッション流通
②小売店の仕組みと業務
- 12 7-2ビジネス基礎知識
①会社とは ②企業の組織
- 13 7-2ビジネス基礎知識
③企業会計
- 14 7-2ビジネス基礎知識
④計数知識
- 15 試験

【成績評価方法】

出席率10% 小テスト30% 期末試験60%

【教科書・参考書】『ファッションビジネス[I]』財日本ファッション教育振興協会刊 H21年改訂版

『図解雑学アパレル業界のしくみ』ナツメ社 2011年刊

雑誌『ファッション販売』 商業界

【教材・教具】

レジュメ PCまたはタブレット端末から講義内容をモニターに映写

科目名	ビジネスマナー	整理番号	
学科	ファッション雑貨デザイン学科	期	前期
コース	ファッション雑貨デザインコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 70% 実習 30%
時間数	30	作成者	衣笠節子

【科目の到達目標】

- ・ビジネスマナーを習得し、社会人として必要なコミュニケーション能力とサービスマインドについて学習する。
- ・企業が求めている即戦力および人間力を身につけ、就職活動に役立てる。
- ・人と円滑な交流を行い接客業務にも生かすことができる。

【科目の概要】

- ・ビジネス社会では、業務についての知識だけでなく礼儀やコミュニケーション能力が求められている。本科目では人前で話す訓練をし、思っていることを相手に伝える言葉の表現力を習得する。
- ・接遇マナーが重視されている中、知識だけでなく実践できるようになる。

【授業計画】 90分/コマ

- 1 マナーの重要性 「関係づくりの第一歩」
- 2 社会人としての常識 「マナー度チェック」
- 3 第一印象をアップする 「身だしなみと立ち居振る舞い」
- 4 言葉遣いのマナー 「敬語の種類・対応の基本用語」
- 5 外部の方へのアプローチ 「電話対応とメールのマナー」
- 6 グループワーク 「美点凝視」
- 7 ビジネス実務 「名刺交換のマナー・訪問のマナー」
- 8 ビジネス実務 「応接室でのルール・乗り物のマナー」
- 9 ビジネス実務 「指示の受け方と報告の仕方」
- 10 ビジネス実務 「慶事と弔事のマナー」
- 11 仕事の上で必要とされる表現技術 「プレゼンテーション」
- 12 ビジネス文書のマナー 「社内文書・社外文書」
- 13 就職面接対策 「面接室での流れと定番質問」
- 14 まとめ 「修業テスト」
- 15 コミュニケーションスキル 「会話を広げるアプローチ話法」

【成績評価方法】

- ・提出課題・スピーチの評価60%・理解力(修業テスト)30%・授業態度10%
- 以上を指導要項に基づいて総合的に評価する。

【教科書・参考書】

田野直美『ビジネスでの常識集』トータルマナー株式会社 最新版

【教材・教具】